

平成26年度 事務事業評価シート

章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる
施策	I	市民の主体的な学習の推進
目標	生涯にわたって学び続ける社会をつくるため、市民の主体的な学習を推進する。	

指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	目標値 H27
指標① 生涯学習人材バンク登録者数	団体	262	344	344	343	345	346	—	350
指標② 図書年間貸出冊数	冊	200,487	241,869	241,184	242,016	236,070	234,993	—	230,000

施策コード	施策の基本的な方向性	主要な施策	具体的な内容
1-①	1 生涯学習活動の促進	① ライフステージ（生涯各期）に対応した多様な学習機会の充実	・家庭や学校、地域社会、行政機関、民間団体等の連携、融合を図り、多様な学習機会を充実します。 ・いつでも、どこでも、誰でも学べる各種の通信教育や映像を利用した生涯学習活動を促します。 ・市民の生涯学習活動の動向などの把握に努めます。 ・国際化や情報化、環境、男女平等参画など社会の変化に応じた生涯学習活動を進めます。
1-②	1 生涯学習活動の促進	② 主体的な生涯学習活動の充実	・市民が自発的かつ継続的に生涯学習活動を行えるよう、様々な分野の情報の提供を進めます。 ・民間生涯学習事業者の柔軟な発想による多様な創意ある生涯学習機会の提供を促進します。 ・ボランティア活動を促進するための取組を進めます。
1-③	1 生涯学習活動の促進	③ 生涯学習情報の提供と充実	・広報紙やIT（情報通信技術）機器の利用（ホームページ、メールなど）や報道機関の協力により、生涯学習に関する情報提供に努めるとともに、内容の充実に努めます。 ・生涯学習情報のデータベース化やネットワーク化を進めます。
2-①	2 生涯学習環境の充実	① 生涯学習の場の確保と充実	・誰もが支障なく利用できる生涯学習施設のバリアフリー化を進めます。 ・老朽化した生涯学習施設の整備に努めます。 ・生涯学習の成果などを発表し、お互いに学びあえる場づくりに努めます。 ・生涯学習の目標や意欲の向上を図るため、レベルの高い文化作品や芸術の鑑賞をする機会を設けます。
2-②	2 生涯学習環境の充実	② 生涯学習指導者（学習支援者）の育成と確保	・豊富な知識や経験、技能を持つ高齢者や、芸術やスポーツなどで活躍している市民など幅広い分野からの人材の発掘に努めるとともに、人材情報の提供に努めます。 ・生涯学習指導者の資質の向上や研修などを図ります。 ・生涯学習関連団体やグループ、サークルなどにおける指導者の養成に努めます。
2-③	2 生涯学習環境の充実	③ 図書館機能の充実	・他の図書館や民間団体などと連携・協力して図書館のあり方を検討します。 ・図書館ボランティアの育成に努めるとともに、活動する場の提供に努めます。 ・利用者の多様化に対応した図書情報の提供に努めます。 ・情報機器を活用した図書検索や貸出・予約、他図書館とのネットワークの構築など情報化に対応した図書館機能を継続して整備します。 ・図書館職員の自己啓発や職場外研修に努めます。 ・市民個人が高額で収集困難な図書や資料の充実に努めます。 ・文字・活字文化の振興を図るため、文字・活字文化に係る事業の展開に努めます。 ・子ども読書活動推進計画に基づき、子どもを対象にした読み聞かせの会を継続するとともに、学校や団体との連携を図り、子どもが読書に親しみ事業の展開に努めます。 ・学校図書館で購入する図書資料の選定などに協力するとともに、司書教諭との相談や図書に関する研修などの情報の提供に努めます。 ・情報が交流する場として、多くの市民に親しまれたいような機能の充実に努めます。

NO	施策	事業名 【事務事業 コード】	部名及びグ ループ名	開始 年度	終了 年度	事業 区分	会計 種別	Plan・Do											Check					Action									
								事業概要				事業の成果、目標							各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】						第2期基本計画第3次実施計画期間 中(H24～H26)における事業内容の 変更・改善等の状況	評価	評価の判断理由、特記事項 など (妥当性、有効性、効率性、成 果)	今後の事業の方 向性 【H27以降】					
								事業の目的	年度	対象者等 ※ハーフ事業 の場合は、籍 地名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、 要綱等	指標名	単位	H24 実績	H25 実績	H26 目標	H27 目標	H28 目標	H29 目標	名称	H24 決算	H25 決算						H26 予算	H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案	
1	1-①	市民生涯学習推進講座 (家庭教育学級)	教育委員会 社会教育G	S41	—	ソフト	一般会計	園児や児童をもつ保護者	H24	園児や児童をもつ保護者 幼稚園・小学校、保護者の連携による各学級の学習会のほか、講演会（全体学習会）、作品展を行った。 【学級数】12学級（小学校8学級、幼稚園4学級） 【家庭教育学級講演会】1回 参加者70名 【作品展】場所：登別市民会館 出品者91名	—	学習会開催数	回	48	46	55	55	55	55	国庫支出金									H24以前	これまで不定期に開催していた家庭教育学級講演会を年1回または2回実施することとした。家庭教育学級講演会の内容を見直し、学級単位から家庭教育学級全体へ学びが広がるよう取り組むこととした。	維持	子どもたちの健全な育成を図るためにも、家庭の教育力を向上していく必要がある。	今後も家庭の教育力向上のための様々な施策の展開を図っていく。
		51111003						園児や児童をもつ保護者が、子育てに関する教養を深めることにより、家庭における教育力を高めることを目的とする。	H25	上記のとおり 【学級数】12学級（小学校8学級、幼稚園4学級） 【家庭教育学級講演会】2回 参加者計55名 【作品展】場所：登別市民会館 出品者83名	—																H25	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。					
									H26	上記のとおり 上記のとおり実施中	—	参加者	人	1,330	942	950	950	950	950	一般財源	199	234	369	369	369	369		H26	上記のとおり				
												合計		199	234	369	369	369	369														
2	1-①	市民生涯学習推進講座 (市民マイプラン講座)	教育委員会 社会教育G	H3	—	ソフト	一般会計	市内の団体、サークルが自主的に学習会等を行うことにより、市民の学習意欲を喚起し、生涯学習の推進を図ることを目的とする。	H24	市民団体、サークル グループ・サークルが自主的に企画し、複数人規模で行う学習会等の活動に対し、講師料(5,000円)を支援する。 【利用団体】：13団体 【講座内容】：調理実習、木のおもちや作り講座、新聞学習会等	—	実施講座数	回	13	14	30	30	30	30	国庫支出金									H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	改善	市民の自主的な学習(生涯学習)をサポートする事業であり、豊かな心と学習の意欲を喚起するものであることから、今後においても推進していく必要があるものの、利用団体の状況等を踏まえ、制度の見直しの検討を行う。	今後も学習成果の活用が図られる生涯学習社会の実現に向け、より多くの市民の生涯意欲を促すための制度について検討を行う。
		51111004							H25	上記のとおり 別紙のとおり 【利用団体】：14団体 【講座内容】：炊き出し訓練、おりがみ講座、男の料理教室等	上記のとおり																H25	上記のとおり					
									H26	上記のとおり 上記のとおり実施中	上記のとおり	—															H26	市民への周知を徹底するとともに、利用者へのアンケートを実施し、その結果と現在の利用団体の状況等を踏まえ、制度の見直しの検討を行う。					
												合計		65	70	150	150	150	150		65	70	150	150	150	150							

NO	施策	事業名 【事務事業 コード】	部名及びグ ループ名	開始 年度	終了 年度	事業 区分	会計 種別	Plan・Do															Check		Action									
								事業概要				事業の成果、目標							各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】							第2期基本計画第3次実施計画期間 中(H24~H26)における事業内容の 変更・改善等の状況	評価 項目	評価の判断理由、特記事項 等 (妥当性、有効性、効率性、成 果)	今後の事業の方向 性 (H27以降)					
								事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業 の場合は、直 接名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、 要綱等	指標名	単位	H24 実績	H25 実績	H26 目標	H27 目標	H28 目標	H29 目標	名称	H24 決算	H25 決算	H26 予算						H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案		
3	1-①	市民生涯学 習推進講座 (登別ときめ き大学)	教育 委員会	社会 教育G	H23	-	ソフト	一般 会計	社会、経済、自然、 歴史、文化など多分野を学ぶこ とにより、それぞれの知識の充実と ともにまちづくりを担う人材を育成 することを目的とする。	H24	登別ときめ き大学受講 者	事務局主催の基礎コースと他団体主催の連携コ ースで、それぞれ講座を行った。 【基礎コース】8回 南極を歩いて見えてきた地球のこと、津波から逃げる、 エゾシカは森の恵み等 【連携コース】86講座登録 ウォーキング講習会、郷土資料館特別展、縄文講演 会等	-	受講者数(基礎 コース年間)	人	274	252	350	350	350	350	350	国庫 支出金 道 支出金 地方債 その他 一般 財源 合計							H24 以前	平成23年度より、ときめき大学と婦 人短期大学を統合し、年齢・性別を 問わない市民大学となった。また、 市内で実施される講座を連携コース に登録することで、より幅広く市民 に学ぶ場を提供できた。受講状況の 事務局管理から受講者による自主管 理となった。	まちづくりを担う人材を育成 するなど生涯学習社会を推進 するためにも、運営委員と協 働により充実した講座を企画 して事業を進めており、今後 も事業を継続することが相当 である。	今後も、運営委員 による自主運営や 学習環境の充実 に努めていく。	
		5111008	上記のと おり	上記のと おり 【基礎コース】8回 胆振の自然環境、渡り鳥、社会見学(西胆振の歴史 建築)、岩手県陸前高田市への復興支援とこれら 等	-	学習回数(基礎 コース年間)	回	8		8	8	8	8		8							H26		市民への周知に努め、受講者 の拡大を図る。										
		上記のと おり	上記のと おり 【基礎コース】8回 【連携コース】87講座登録 ウォーキング講習会、郷土資料館特別展、縄文講演 会等	-	8		8	8		8	8	8	269		175	408	408	408	408															
4	1-③	婦人研修の 家管理事業	教育 委員会	社会 教育G	S52	-	ソフト	一般 会計	婦人の生活文化 や教養の向上を図 ることにより、地 域における婦人 の連携を深めるこ とを目的とする。	H24	婦人研修の 家利用者	市内8箇所の婦人研修の家の運営管理及び老 朽化した箇所の補修を行った。 【指定管理者】：各町内会(平成23~27年度) 【補修内容】：英園婦人研修の家 防災カー ペット 柏木婦人研修の家 大広間 若草婦人研修の家 外壁	登別市婦人研修の 家設置条例、登別 市婦人研修の家設 置条例施行規則	婦人研修の家利 用者数	人	16,731	19,372	20,000	20,000	20,000	20,000	国庫 支出金 道 支出金 地方債 その他 一般 財源 合計								H24 以前	事業実施中に不断の事務改善 を検討・実施して おりますが、事業 内容に変更はあり ません。	婦人の研修を目的 に使用されることが はばば無くなって いるが、登別市婦 人研修の家の家設 置条例施行規則の 規定によるコミュニ ティ施設としての 利用が多いため、 管理委託や施設本 体の維持補修を行 うとともに、公共 施設整備方針を踏 まえて統廃合につ いては、公共施設 整備方針を踏まえ 統廃合についても 検討する段階に あるが、地域づく りの拠点として今 後も維持していく 必要がある。	平成21年度の事業 仕分けで研修施設 としての位置づけ に疑問は出ている が、町内会などの コミュニティ施設 としての利用が多 いことから今後も 管理委託や施設本 体の維持補修を行 っていき、公共 施設整備方針を踏 まえて統廃合につ いては、公共施設 整備方針を踏まえ 統廃合についても 検討しながら事業 を推進していく。	
		51113001	上記のと おり	上記のと おり 【指定管理者】：各町内会(平成23~27年度) 【補修内容】：柏木婦人研修の家 外壁・屋 根塗装	-	人	-	-		-	-	-	-		4,165	2,955	1,629	1,629	1,629	1,629	H25		上記のと おり											
		上記のと おり	上記のと おり 【指定管理者】：各町内会(平成23~27年度) 【補修内容】：新川婦人研修の家 屋根及び 軒天、畳表替え	-	人	-	-	-		-	-	-	-		4,165	2,955	1,629	1,629	1,629	1,629	H26		上記のと おり											
5	2-①	公民館運営 管理経費	教育 委員会	社会 教育G	S60	-	ソフト	一般 会計	地域住民に交 流・研修の場を提 供することによ り、生涯学習の環 境の充実を目的と する。	H24	公民館利用 者	登別公民館、登別温泉公民館の運営管理及び 老朽箇所の補修や備品の整備を行った。 【補修箇所】 登別公民館 電灯取替、入口両開戸	登別市公民館条 例、登別市公民館 条例施行規則	公民館利用者 数	人	3,038	2,335	2,600	2,600	2,600	2,600	国庫 支出金 道 支出金 地方債 その他 一般 財源 合計								H24 以前	事業実施中に不断の事務改善 を検討・実施して おりますが、事業 内容に変更はあり ません。	地域住民に文化活 動や交流・研修の 場を確保すること により、生涯学習 の環境の充実が 必要である。	今後も生涯教育 環境の充実のため 、施設の補修や 備品の整備が行 っていく。	
		51121001	上記のと おり	登別公民館、登別温泉公民館の運営管理及び 老朽箇所も含めた各公民館の老朽箇所の補修 や備品の整備を行った。 【補修箇所】 登別公民館 キュービック外装 登別温泉公民館 誘導灯ランプ取替	-	人	-	-		-	-	-	68		68	64	64	64	64	H25	上記のと おり													
		上記のと おり	上記のと おり 【指定管理者】：各町内会(平成23~27年度) 【補修箇所】 登別公民館 手すり取り付け 【玄間段差】 登別温泉公民館 ガラス・網戸	-	人	-	-	-		-	-	-	1,698		1,279	1,325	1,325	1,325	1,325	H26	上記のと おり													
6	2-①	教育施設運 営管理経費	教育 委員会	社会 教育G	H18	-	ソフト	一般 会計	市民が活発に文 化・スポーツ活動 を行うことができ る環境を整えるこ とにより、市民の 健全な心身の育成 を図ること目的と する。	H24	教育施設利 用者	市民会館、鷺別公民館、総合体育館、陸上競 技場について、(一財)登別市文化・スポーツ 振興財団へ運営管理を委託し、効率的な運営管 理を行った。 (平成23~27年度指定管理)	登別市市民会館条 例、登別市市民会 館条例施行規則、 登別市公民館条 例、登別市公民館 条例施行規則、 登別市総合体育館 条例、登別市総合 体育館条例施行 規則、登別市体育 施設設置条例、登 別市体育施設設 置条例施行規則	施設利用者数	人	290,364	295,499	290,000	290,000	290,000	290,000	国庫 支出金 道 支出金 地方債 その他 一般 財源 合計									H24 以前	事業実施中に不断の事務改善 を検討・実施して おりますが、事業 内容に変更はあり ません。	事業の実施は、市 民の豊かな心や健 全な身体の育成に 資することから、 今後も事業を継 続することが相当 である。	事業の継続を図 り、指定管理者に よる効率的な運営 を進めることで、 市民の健全な心身 の育成を促進し ていく。
		51121006	上記のと おり	上記のと おり	-	人	-	-		-	-	-	66,651		66,756	68,979	68,979	68,979	68,979	H25	上記のと おり													
		上記のと おり	上記のと おり 【指定管理者】：各町内会(平成23~27年度) 【補修箇所】 登別公民館 キュービック外装 登別温泉公民館 誘導灯ランプ取替	-	人	-	-	-		-	-	-	66,651		66,756	68,979	68,979	68,979	68,979	H26	上記のと おり													
7	2-②	生涯学習の 推進	教育 委員会	社会 教育G	H元	-	ソフト	一般 会計	市民一人ひとり が自ら学び、学習 成果を活用して新 たな学びを得るこ とにより、豊かな 心と生きがいを持 つことができる生 涯学習循環型社会 の構築を目的とす る。	H24	市民	家庭、学校、団体等の相互連携を図り、生涯学 習を推進した。 【市民会館サークル展】年1回 【教育広報の発行】年2回	-	生涯学習情報誌の 発行	回	2	3	3	3	3	3	国庫 支出金 道 支出金 地方債 その他 一般 財源 合計								H24 以前	平成23年度までは生涯学習情 報誌の発行であったが、平成 24年から教育全体の事業を 紹介する教育広報誌とした。	事業の中心であ った生涯学習情 報誌は教育全体の 広報誌へと変 化した。本事業の 目的とする生涯 学習社会の構築 は市民が豊かな心 と生きがいを 持つために必要 なものである。	生涯学習循環型 社会の実現を目 指すため、今後 も継続して事業 を実施していく。	
		51122001	上記のと おり	上記のと おり 【市民会館サークル展】年1回 【教育広報の発行】年3回	-	回	-	-		-	-	-	123		106	125	125	125	125	H25	市民会館サークル展の会場を 中ホールに集約し、新たな団 体の参加を行い、内容の充実 を図った。													
		上記のと おり	上記のと おり 【市民会館サークル展】年1回 【教育広報の発行】年3回	-	回	-	-	-		-	-	-	123		106	125	125	125	125	H26	事業実施中に不断の事務改善 を検討・実施して おりますが、事業 内容に変更はあり ません。													

NO	施策	事業名 【事務事業 コード】	部名及びグ ループ名	開始 年度	終了 年度	事業 区分	会計 種別	Plan・Do														Check		Action											
								事業概要				事業の成果、目標						各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】							第2期基本計画第3次実施計画期間 中(H24~H26)における事業内容の 変更・改善等の状況	評価 評価の判断理由、特記事項 など (妥当性、有効性、効率性、成 果)									
								事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業 の場合は、着 目者を記載	事業の内容	根拠法令、条例、 要綱等	指標名	単位	H24 実績	H25 実績	H26 目標	H27 目標	H28 目標	H29 目標	名称	H24 決算	H25 決算				H26 予算	H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案					
8	2-③	図書館運営 管理事業 51123001	教育委員 会 図書館	-	-	ソフト	一般会計	H24	図書館利用 者	図書館資料の整備と市民の求める資料の提供 に努めるとともに、全ての市民を対象にした読 書推進事業を行った。	図書館法、登別市 図書館条例、登別 市図書館条例施行 規則、登別市立図 書館処務規程	貸出登録者数	人	20,231	21,081	21,000	21,000	21,000	21,000	国庫 支出金									H24 以前	改善	事業実施中に不断の事務改善 を検討・実施しております が、事業内容に変更はありま せん。 ・市民の学習する場や情報取 集の場、さらには寛ぎの場と して、引き続き市民に親しま れる図書館づくりのため、必 要な事業である。 ・平成27年度から 試行的に「国立図 書館デジタル化資 料送信サービ ス」、「現行日本 法規」、「ジャパ ンナレッジL1 b」、「北海道新 聞記事データベ ス」の導入を検討 し、利用者の利便 性向上に努めてい く。				
								H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債														H25	
								H26	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり										貸出冊数	冊	236,070	234,993	235,000	235,000	235,000	235,000	一般財源			10,046	9,055	9,045	9,006
															合計	10,072	9,096	9,058	9,019	9,019	9,019														
9	2-③	移動図書館 運行業務委 託事業 51123002	教育委員 会 図書館	H18	-	ソフト	一般会計	H24	移動図書館 利用者	移動図書館車の効率的な運行と巡回サービス の向上を図るため、運行業務を委託した。 【契約期間（債務負担行為） 平成23年度～平成27年度（5年間）】	図書館法、登別市 図書館条例、登別 市図書館条例施行 規則、登別市立図 書館処務規程	移動図書館車貸出 冊数	冊	26,979	27,261	29,000	29,000	29,000	29,000	国庫 支出金									H24 以前	維持	図書館や配本所を直接利用 できない市民のもとへ図書館 サービスを提供するため、必 要な事業である。 今後も事業を継 続し、図書館等を 直接利用できない 市民等へのサービ スに努めていく。				
								H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債														H25	
								H26	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり										移動図書館車年間 運行日数	日	222	225	226	226	226	226	一般財源			4,077	4,077	4,193	4,232
															合計	4,077	4,077	4,193	4,232	4,232	4,232														
10	2-③	図書・資料 等購入費 51123008	教育委員 会 図書館	-	-	ソフト	一般会計	H24	図書館利用 者	市民の利用に供するための図書・資料等の購 入を実施した。	図書館法、登別市 図書館条例、登別 市図書館条例施行 規則、登別市立図 書館処務規程	購入冊数（図書 等）	冊	5,369	5,387	5,500	5,500	5,500	5,500	国庫 支出金									H24 以前	維持	市民の調査研究や生涯学習 に資する図書・資料等の取 集・整理保存に引き続き努 め、蔵書の充実を図るため、 必要な事業である。 事業の継続を図 り、図書・資料等 の充実に努めてい く。				
								H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債														H25	
								H26	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり										購入冊数（雑誌 等）	冊	840	829	840	840	840	840	一般財源			8,919	9,290	9,473	9,473
															合計	8,919	9,290	9,473	9,473	9,473	9,473														
11	2-③	図書館ネッ トワーク サービス広 域化事業 51123014	教育委員 会 図書館	H23	-	ソフト	一般会計	H24	登別・室 蘭・伊達の 3市の市民	定住自立圏の連携事業として、登別・室蘭・伊達 の3市の図書館情報システムや図書資料等を一体で 運用・利用する事業である。（室蘭・伊達の2市で 行っていた本事業に平成24年1月から当市も参加） 利用者は1枚のカードで3市の図書館を利用する ことができ、図書の予約・貸出・返却等を近くの図 書館で行えるなど利便性が向上するほか、図書館の 広域利用と効率的な図書館運営ができた。		室蘭・伊達に配送 した登別の図書	冊	19,625	23,211	20,000	20,000	20,000	20,000	国庫 支出金										H24 以前	維持	3市の市民が各図書館を相 互利用できるようになり、利 便性が向上している。 また、各市単独で図書館情 報システム構築・運用するの ではなく、3市共同利用する ことで、コストダウンを図る ことが可能である。 利用状況も高く 推移しており、シ ステム運用につい ても有益なことから、 今後も事業を 継続していく。			
								H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債															H25
								H26	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり										登別に配送された 室蘭・伊達の図書	冊	14,640	16,962	14,000	14,000	14,000	14,000	一般財源	2,402			2,513	2,533	2,533
															合計	2,402	2,513	2,533	2,533	2,533	2,533														

全会計 合計	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	道支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	205	207	187	187	187	187
	一般財源	98,614	96,510	98,229	98,229	98,229	98,229
	合計	98,819	96,717	98,416	98,416	98,416	98,416
一般会計 合計	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	道支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	205	207	187	187	187	187
	一般財源	98,614	96,510	98,229	98,229	98,229	98,229
	合計	98,819	96,717	98,416	98,416	98,416	98,416
区分【再掲】	H24 決算	H25 決算	H26 予算	H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案	